

滋賀県後期高齢者医療広域連合
保健事業実施計画(第3次)
【別冊】

令和6年3月

滋賀県後期高齢者医療広域連合

目次

目次

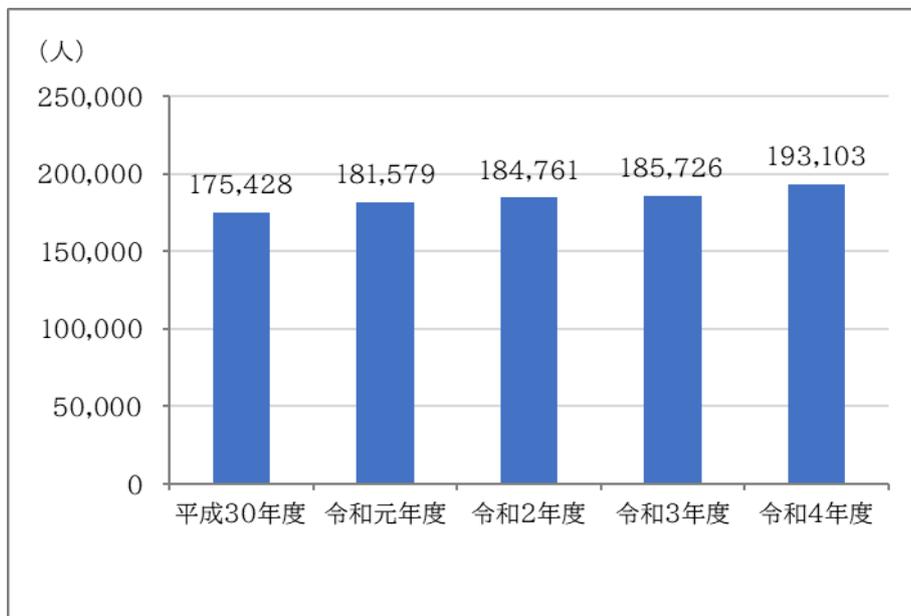
別冊 医療費等詳細分析資料.....	1
1. 被保険者一人当たり医療費	1
2. 疾病別医療費の分析	3
3. 高額レセプトの分析	13
4. 健診およびレセプトの分析結果	17
(1)保健指導対象者のグループ化	17
(2)健診の検査結果に係る分析.....	20
5. 腎症重症化予防の状況	21
(1)人工透析患者の状況	21
(2)指導対象者集団の特定.....	24
6. 適正受診の状況.....	25
7. 要介護度別医療費の状況.....	28
8. その他(フレイル識別 および 骨折の分析).....	30

別冊 医療費等詳細分析資料

1. 被保険者一人当たり医療費

平成30年度から令和4年度の「被保険者数」の推移を下図に示します。

【被保険者数の推移】

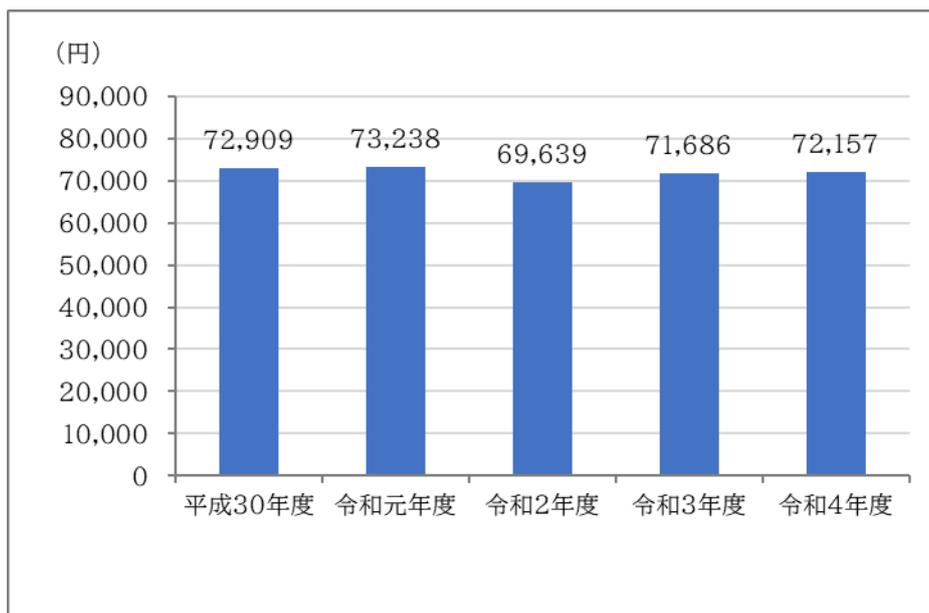


※データ分析対象は、被保険者データを使用。

※被保険者数は各年度の9月末時点の人数

同じく、「被保険者一人当たりの医療費」の推移を下図に示します。

【被保険者一人当たりの医療費の推移】



※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

次に、平成30年度から令和4年度の「入院・外来・歯科・調剤別の月額医療費(12ヶ月平均)」の推移を示します。

【入院・外来・歯科・調剤別の月額医療費の推移】

		月額医療費(12カ月平均)					
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
A	被保険者数(人)	175,428	181,579	184,761	185,726	193,103	
B	レセプト件数(件)	入院	11,473	11,560	10,688	10,776	11,031
		外来	215,947	222,265	214,639	221,416	232,878
		歯科	31,389	33,862	31,321	33,914	37,296
		調剤	146,926	153,562	151,089	157,013	164,998
		合計	405,734	421,249	407,736	423,120	446,203
C	患者数(人)	入院	10,989	11,059	10,184	10,243	10,465
		外来	139,444	143,408	142,055	145,437	151,247
		歯科	30,856	33,267	30,804	33,380	36,697
		調剤	111,259	116,036	115,803	119,694	124,994
		合計	292,547	303,769	298,846	308,755	323,403
D	医療費(円)	入院	6,591,879,503	6,805,305,147	6,515,393,505	6,711,350,851	7,049,627,461
		外来	3,579,473,418	3,709,957,059	3,601,330,723	3,765,385,403	3,986,086,896
		歯科	403,185,373	428,493,052	413,785,119	441,819,806	484,259,196
		調剤	2,215,783,210	2,354,807,573	2,335,989,259	2,395,448,035	2,413,765,238
		合計	12,790,321,503	13,298,562,830	12,866,498,607	13,314,004,094	13,933,738,790
D/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	入院	37,576	37,479	35,264	36,136	36,507
		外来	20,404	20,432	19,492	20,274	20,642
		歯科	2,298	2,360	2,239	2,379	2,508
		調剤	12,631	12,969	12,643	12,898	12,500
		合計	72,909	73,238	69,639	71,686	72,157
D/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	入院	574,589	588,614	609,552	622,559	639,140
		外来	16,572	16,690	16,768	17,001	17,117
		歯科	12,837	12,647	13,203	13,012	12,977
		調剤	15,076	15,329	15,456	15,249	14,623
		全体	31,523	31,572	31,559	31,469	31,236

※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。
 ※複数に該当する患者が存在するため、患者数の合計は縦の合計と一致しない。

また、令和4年度の市町別の「被保険者一人当たりの医療費」を下図に示します。

【市町別 被保険者一人当たりの医療費(令和4年度)】



※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

2. 疾病別医療費の分析

平成30年度から令和4年度の大分類疾病別医療費を下表に示します。各年度の医療費上位5疾病に背景色をつけています。

【大分類による疾病別医療費】

疾病分類(大分類)	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	医療費(千円)	構成比	順位												
I. 感染症及び寄生虫症	2,470,383	1.6%	14	2,476,159	1.6%	14	2,320,422	1.5%	14	2,333,981	1.5%	15	2,509,474	1.5%	15
II. 新生物<腫瘍>	12,301,958	8.0%	4	13,406,817	8.4%	4	13,441,004	8.7%	4	13,891,280	8.7%	4	15,438,921	9.2%	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,539,874	1.0%	15	1,712,295	1.1%	15	1,542,406	1.0%	15	1,563,163	1.0%	16	1,580,517	0.9%	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	11,131,754	7.3%	6	11,582,411	7.3%	6	11,389,657	7.4%	6	11,831,133	7.4%	6	12,515,518	7.5%	5
V. 精神及び行動の障害	4,113,238	2.7%	12	4,262,062	2.7%	12	4,269,438	2.8%	12	4,245,698	2.7%	13	4,399,351	2.6%	12
VI. 神経系の疾患	9,997,087	6.5%	7	10,075,926	6.3%	7	9,798,860	6.4%	7	9,584,277	6.0%	7	9,636,716	5.8%	8
VII. 眼及び付属器の疾患	5,657,035	3.7%	10	6,031,724	3.8%	10	5,667,391	3.7%	11	5,776,412	3.6%	11	6,263,271	3.7%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	435,723	0.3%	17	435,068	0.3%	17	398,008	0.3%	17	417,265	0.3%	18	444,367	0.3%	18
IX. 循環器系の疾患	33,252,377	21.7%	1	34,266,862	21.5%	1	32,985,871	21.4%	1	33,361,139	20.9%	1	34,525,726	20.7%	1
X. 呼吸器系の疾患	8,176,143	5.3%	9	8,183,767	5.1%	9	7,025,075	4.6%	9	6,802,120	4.3%	9	8,046,230	4.8%	9
X I. 消化器系の疾患	17,063,998	11.1%	2	17,966,282	11.3%	2	17,485,295	11.3%	2	17,798,037	11.1%	2	19,074,491	11.4%	2
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,592,347	3.6%	11	5,635,324	3.5%	11	5,707,022	3.7%	10	5,791,742	3.6%	10	6,090,586	3.6%	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	16,249,615	10.6%	3	17,033,103	10.7%	3	16,101,811	10.4%	3	16,045,495	10.1%	3	16,806,273	10.1%	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	12,076,853	7.9%	5	12,492,857	7.8%	5	12,171,839	7.9%	5	12,042,974	7.5%	5	12,074,741	7.2%	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	80	0.0%	21	178	0.0%	21	81	0.0%	21	100	0.0%	21	154	0.0%	21
X VI. 周産期に発生した病態	85	0.0%	20	65	0.0%	22	42	0.0%	22	31	0.0%	22	6	0.0%	22
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	21,692	0.0%	19	28,264	0.0%	19	37,797	0.0%	20	45,378	0.0%	19	53,690	0.0%	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,683,545	2.4%	13	3,780,969	2.4%	13	3,635,965	2.4%	13	3,690,127	2.3%	14	4,312,924	2.6%	13
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	8,879,860	5.8%	8	9,388,091	5.9%	8	9,477,716	6.1%	8	9,307,614	5.8%	8	10,038,409	6.0%	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	573,989	0.4%	16	570,957	0.4%	16	609,442	0.4%	16	640,175	0.4%	17	683,968	0.4%	17
X X II. 特殊目的用コード	42	0.0%	22	324	0.0%	20	88,914	0.1%	18	4,416,865	2.8%	12	2,535,003	1.5%	14
分類外	80,823	0.1%	18	75,422	0.0%	18	55,823	0.0%	19	43,218	0.0%	20	43,323	0.0%	20
合計	153,298,500			159,404,930			154,209,880			159,628,224			167,073,660		

※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

令和4年度の大分類による疾病別医療費を下表に示します。各項目の上位5疾病に背景色をつけています。また、この表の医療費上位5疾病の構成比を下図に示します。

【令和4年度 大分類による疾病別医療費および一人当たり医療費】

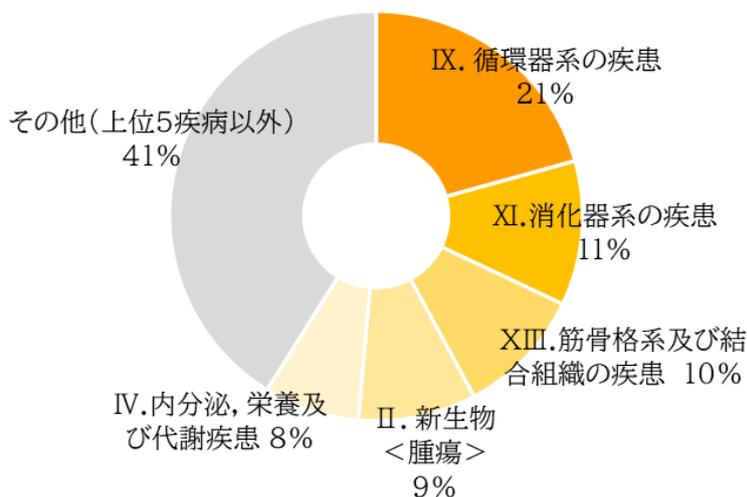
疾病分類(大分類)	A			B		A/B	
	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,509,473,966	1.5%	15	57,435	12	43,692	16
II. 新生物<腫瘍>	15,438,921,376	9.2%	4	48,608	13	317,621	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,580,517,221	0.9%	16	21,482	18	73,574	11
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	12,515,518,495	7.5%	5	132,330	4	94,578	10
V. 精神及び行動の障害	4,399,351,237	2.6%	12	34,543	15	127,359	4
VI. 神経系の疾患	9,636,716,151	5.8%	8	76,623	10	125,768	5
VII. 眼及び付属器の疾患	6,263,270,965	3.7%	10	87,307	6	71,738	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	444,366,666	0.3%	18	22,922	17	19,386	19
IX. 循環器系の疾患	34,525,726,401	20.7%	1	163,476	2	211,198	2
X. 呼吸器系の疾患	8,046,229,976	4.8%	9	76,905	9	104,626	9
XI. 消化器系の疾患	19,074,490,763	11.4%	2	169,454	1	112,564	8
XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,090,586,489	3.6%	11	105,824	5	57,554	14
XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	16,806,272,787	10.1%	3	137,577	3	122,159	6
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	12,074,740,949	7.2%	6	70,637	11	170,941	3
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	153,704	0.0%	21	43	21	3,575	21
XVI. 周産期に発生した病態	6,185	0.0%	22	3	22	2,062	22
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	53,690,011	0.0%	19	1,469	20	36,549	17
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,312,923,532	2.6%	13	77,378	8	55,738	15
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	10,038,409,406	6.0%	7	86,587	7	115,934	7
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	683,968,091	0.4%	17	23,775	16	28,768	18
XXII. 特殊目的用コード	2,535,002,988	1.5%	14	34,748	14	72,954	12
分類外	43,323,082	0.0%	20	3,141	19	13,793	20
合計	167,073,660,440			204,529		816,870	

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

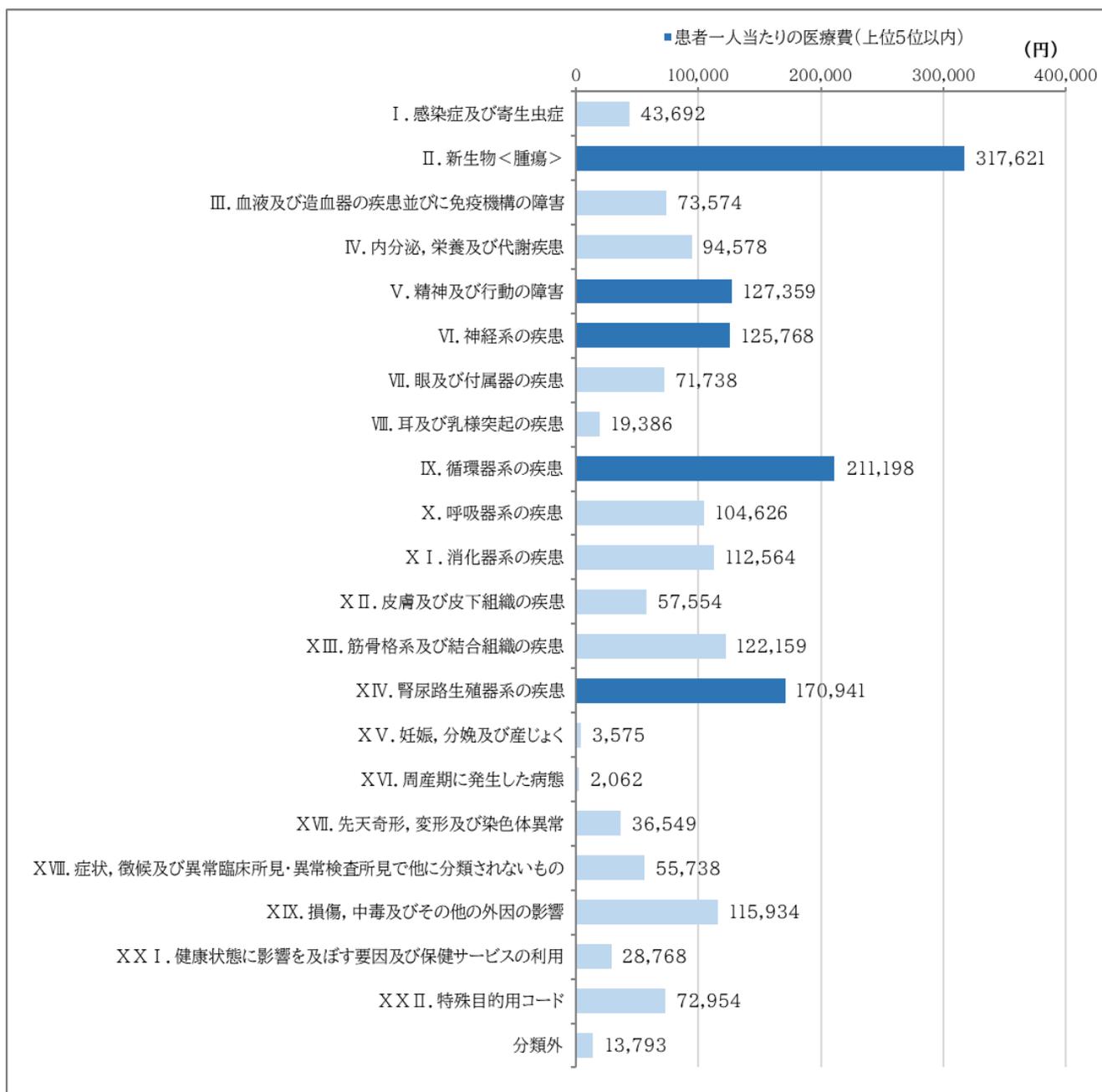
※複数の疾病をもつ患者が存在するため、患者数の合計は縦の合計と一致しない。

【令和4年度 大分類による疾病別医療費の上位5疾病構成比】



同じく、この表の「患者一人当たり医療費」を下図に示します。

【令和4年度 大分類による疾病別 患者一人当たり医療費】



※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

次に、令和4年度の大分類による疾病別医療費を「年齢階層別」に集計し、その上位5つの大分類疾病を下表に示します。

【年齢階層別 大分類による疾病別医療費の上位5疾病(令和4年度)】

年齢階層	1位	2位	3位	4位	5位
65歳～ 69歳	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	VI. 神経系の疾患
70歳～ 74歳	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	VI. 神経系の疾患
75歳～ 79歳	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X I. 消化器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
80歳～ 84歳	IX. 循環器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
85歳～ 89歳	IX. 循環器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
90歳～ 94歳	IX. 循環器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X. 呼吸器系の疾患
95歳～	IX. 循環器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X. 呼吸器系の疾患

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

※年齢は、令和4年度3月31日時点。

同じく、「入院・入院外別」に集計した医療費を下表に示します。入院と入院外でそれぞれ医療費上位5疾病に背景色をつけています。

【入院・入院外別 大分類による疾病別医療費(令和4年度)】

疾病分類(大分類)	医療費(円)	
	入院	入院外
I. 感染症及び寄生虫症	1,333,110,179	1,176,363,787
II. 新生物<腫瘍>	6,745,025,656	8,693,895,720
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	947,462,871	633,054,350
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,455,529,969	8,059,988,526
V. 精神及び行動の障害	3,431,074,664	968,276,572
VI. 神経系の疾患	5,234,819,392	4,401,896,759
VII. 眼及び付属器の疾患	1,234,391,720	5,028,879,245
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	90,490,890	353,875,777
IX. 循環器系の疾患	20,266,823,523	14,258,902,878
X. 呼吸器系の疾患	5,189,851,518	2,856,378,458
X I. 消化器系の疾患	7,474,755,527	11,599,735,236
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,850,444,535	3,240,141,954
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	7,868,503,811	8,937,768,976
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	4,302,172,895	7,772,568,054
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	42,427	111,277
X VI. 周産期に発生した病態	0	6,185
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	38,524,723	15,165,287
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,661,596,906	1,651,326,626
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,486,516,768	1,551,892,638
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	386,107,315	297,860,777
X X II. 特殊目的用コード	1,721,037,819	813,965,169
分類外	22,069,242	21,253,841
合計	84,740,352,350	82,333,308,090

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

次に、平成30年度から令和4年度の中分類疾病^(※1)別に医療費を集計し、各年度の「医療費」、「患者数」、「患者一人当たりの医療費」の上位5疾病を下表に示します。

【中分類による疾病別医療費 医療費上位5疾病の推移】

順位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
	疾病分類	医療費 (千円)	疾病分類	医療費 (千円)	疾病分類	医療費 (千円)	疾病分類	医療費 (千円)	疾病分類	医療費 (千円)					
1	0903	その他の心疾患	11,277,570	0903	その他の心疾患	11,951,736	0903	その他の心疾患	11,675,363	0903	その他の心疾患	12,275,737	0903	その他の心疾患	13,025,551
2	1113	その他の消化器系の疾患	10,107,741	1113	その他の消化器系の疾患	10,712,857	1113	その他の消化器系の疾患	10,461,583	1113	その他の消化器系の疾患	10,563,363	1113	その他の消化器系の疾患	11,278,873
3	1402	腎不全	7,634,395	1402	腎不全	7,888,584	1402	腎不全	7,704,042	1402	腎不全	7,669,336	0901	高血圧性疾患	7,633,147
4	0901	高血圧性疾患	7,454,339	0901	高血圧性疾患	7,647,518	0901	高血圧性疾患	7,425,833	0901	高血圧性疾患	7,383,894	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	7,625,305
5	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	5,920,631	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	6,306,574	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	6,497,443	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	6,929,523	1402	腎不全	7,548,771

【中分類による疾病別医療費 患者数上位5疾病の推移】

順位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
	疾病分類	患者数 (人)	疾病分類	患者数 (人)	疾病分類	患者数 (人)	疾病分類	患者数 (人)	疾病分類	患者数 (人)					
1	0901	高血圧性疾患	125,407	0901	高血圧性疾患	128,678	0901	高血圧性疾患	130,200	0901	高血圧性疾患	135,288	0901	高血圧性疾患	142,325
2	1113	その他の消化器系の疾患	123,595	1113	その他の消化器系の疾患	127,286	1113	その他の消化器系の疾患	126,114	1113	その他の消化器系の疾患	130,123	1113	その他の消化器系の疾患	136,462
3	0903	その他の心疾患	82,540	0903	その他の心疾患	84,854	0903	その他の心疾患	85,512	0903	その他の心疾患	88,667	0903	その他の心疾患	93,379
4	0403	脂質異常症	74,402	0403	脂質異常症	77,779	0403	脂質異常症	79,650	0403	脂質異常症	84,284	0403	脂質異常症	90,817
5	1102	歯肉炎及び歯周疾患	70,575	1102	歯肉炎及び歯周疾患	75,440	1102	歯肉炎及び歯周疾患	72,748	1102	歯肉炎及び歯周疾患	78,033	1102	歯肉炎及び歯周疾患	86,537

【中分類による疾病別医療費 患者一人当たりの医療費上位5疾病の推移】

順位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
	疾病分類	患者一人当たりの医療費 (円)	疾病分類	患者一人当たりの医療費 (円)	疾病分類	患者一人当たりの医療費 (円)	疾病分類	患者一人当たりの医療費 (円)	疾病分類	患者一人当たりの医療費 (円)					
1	1402	腎不全	707,019	0209	白血病	712,849	0209	白血病	720,955	0209	白血病	714,537	0209	白血病	957,643
2	0209	白血病	619,088	1402	腎不全	694,173	1402	腎不全	661,802	1402	腎不全	613,154	1402	腎不全	547,092
3	0904	くも膜下出血	457,307	0904	くも膜下出血	529,669	0904	くも膜下出血	556,898	0904	くも膜下出血	460,419	0904	くも膜下出血	441,677
4	0905	脳内出血	430,242	0905	脳内出血	419,127	0905	脳内出血	414,240	0905	脳内出血	399,932	0208	悪性リンパ腫	432,173
5	0208	悪性リンパ腫	377,368	0208	悪性リンパ腫	418,387	1901	骨折	379,615	1901	骨折	346,698	0905	脳内出血	369,903

※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

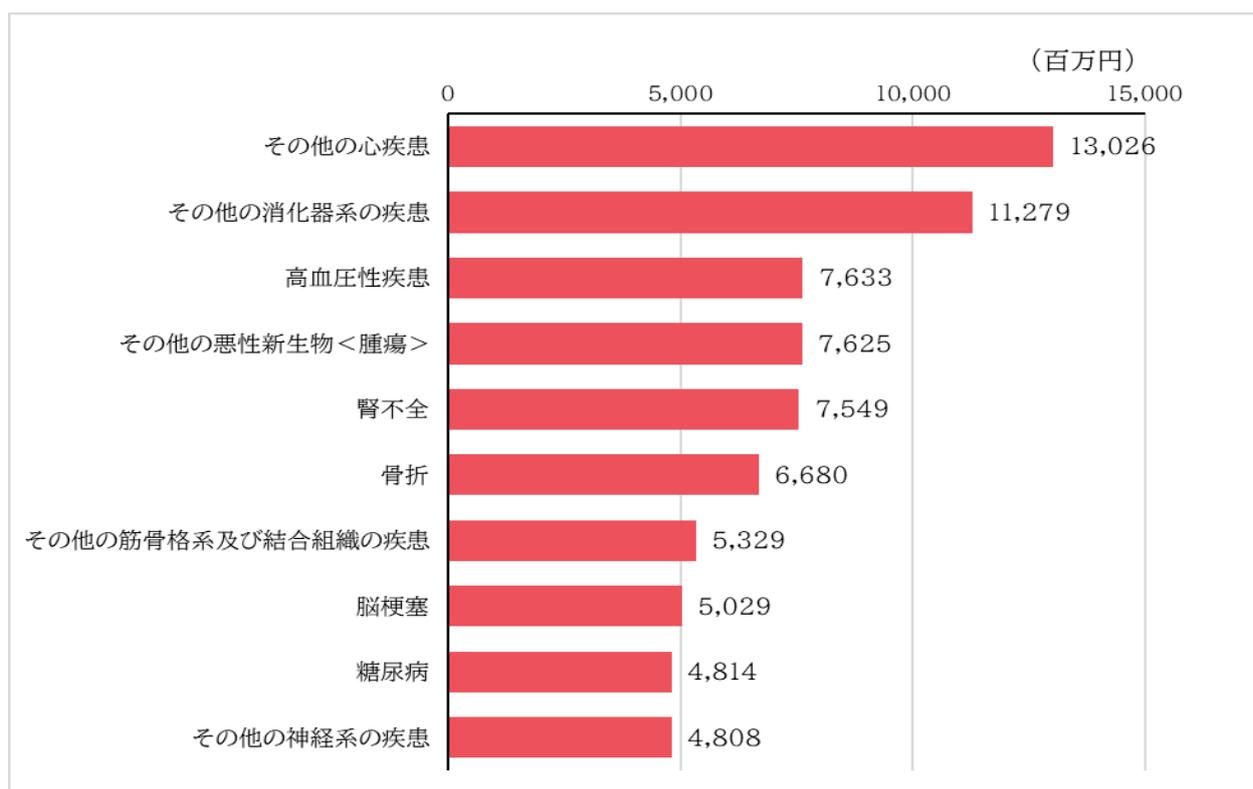
未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

※1 中分類疾病の「その他の～」の分類名の詳細な説明についてはP12 参照。

次に、令和4年度の中分類疾病^(※1)別医療費を集計し、「医療費」の上位10疾病を下表および下図に示します。

【令和4年度 中分類による疾病別医療費 医療費上位10疾病】

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0903 その他の心疾患	13,025,550,798	7.8%	93,379	139,491
2	1113 その他の消化器系の疾患	11,278,873,312	6.8%	136,462	82,652
3	0901 高血圧性疾患	7,633,146,681	4.6%	142,325	53,632
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	7,625,305,104	4.6%	24,159	315,630
5	1402 腎不全	7,548,770,867	4.5%	13,798	547,092
6	1901 骨折	6,679,770,557	4.0%	19,112	349,507
7	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	5,328,724,870	3.2%	56,581	94,179
8	0906 脳梗塞	5,028,523,907	3.0%	29,464	170,667
9	0402 糖尿病	4,814,323,578	2.9%	48,715	98,826
10	0606 その他の神経系の疾患	4,808,201,807	2.9%	61,837	77,756



※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

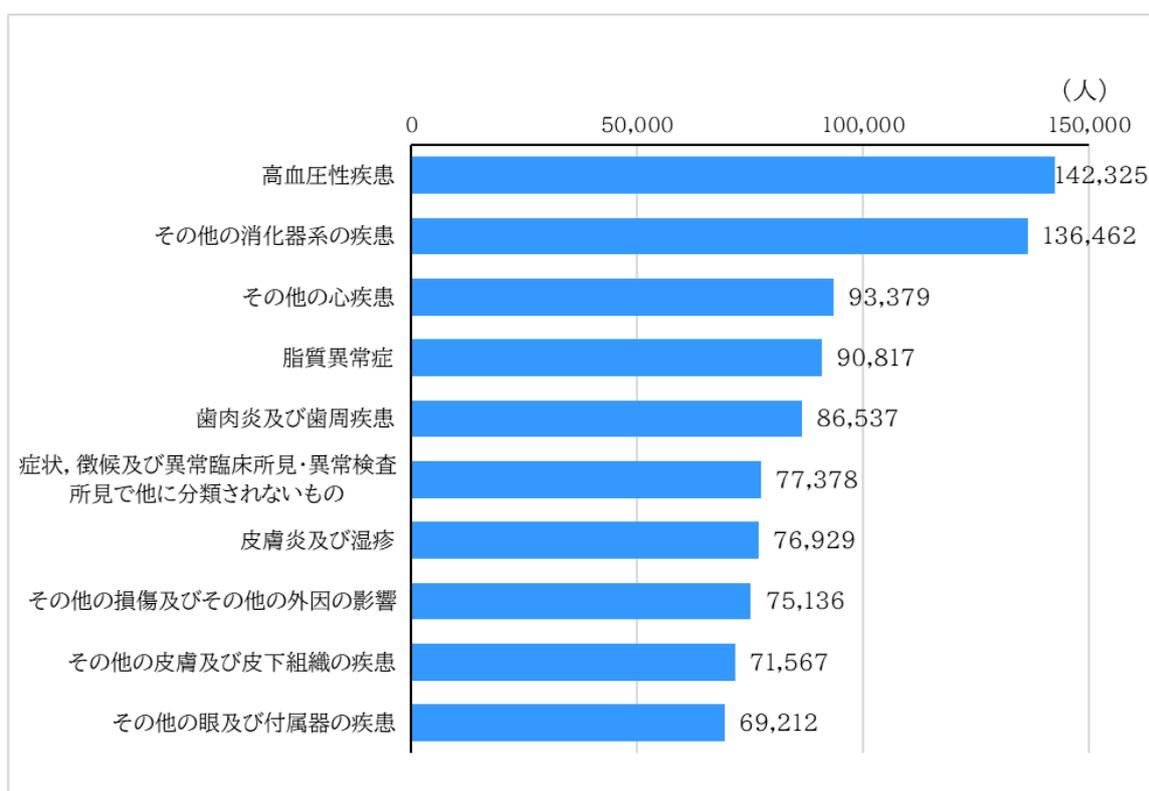
未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

※1 中分類疾病の「その他の～」の分類名の詳細な説明については P12 参照。

同じく、「患者数」の上位10疾病を下表および下図に示します。

【令和4年度 中分類による疾病^(※1)別医療費 患者数上位10疾病】

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人)	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0901 高血圧性疾患	7,633,146,681	142,325	69.6%	53,632
2	1113 その他の消化器系の疾患	11,278,873,312	136,462	66.7%	82,652
3	0903 その他の心疾患	13,025,550,798	93,379	45.7%	139,491
4	0403 脂質異常症	3,343,917,579	90,817	44.4%	36,820
5	1102 歯肉炎及び歯周疾患	2,211,933,539	86,537	42.3%	25,561
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,312,923,532	77,378	37.8%	55,738
7	1202 皮膚炎及び湿疹	2,048,060,578	76,929	37.6%	26,623
8	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	2,709,440,104	75,136	36.7%	36,060
9	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	3,709,338,714	71,567	35.0%	51,830
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	3,700,300,531	69,212	33.8%	53,463



※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

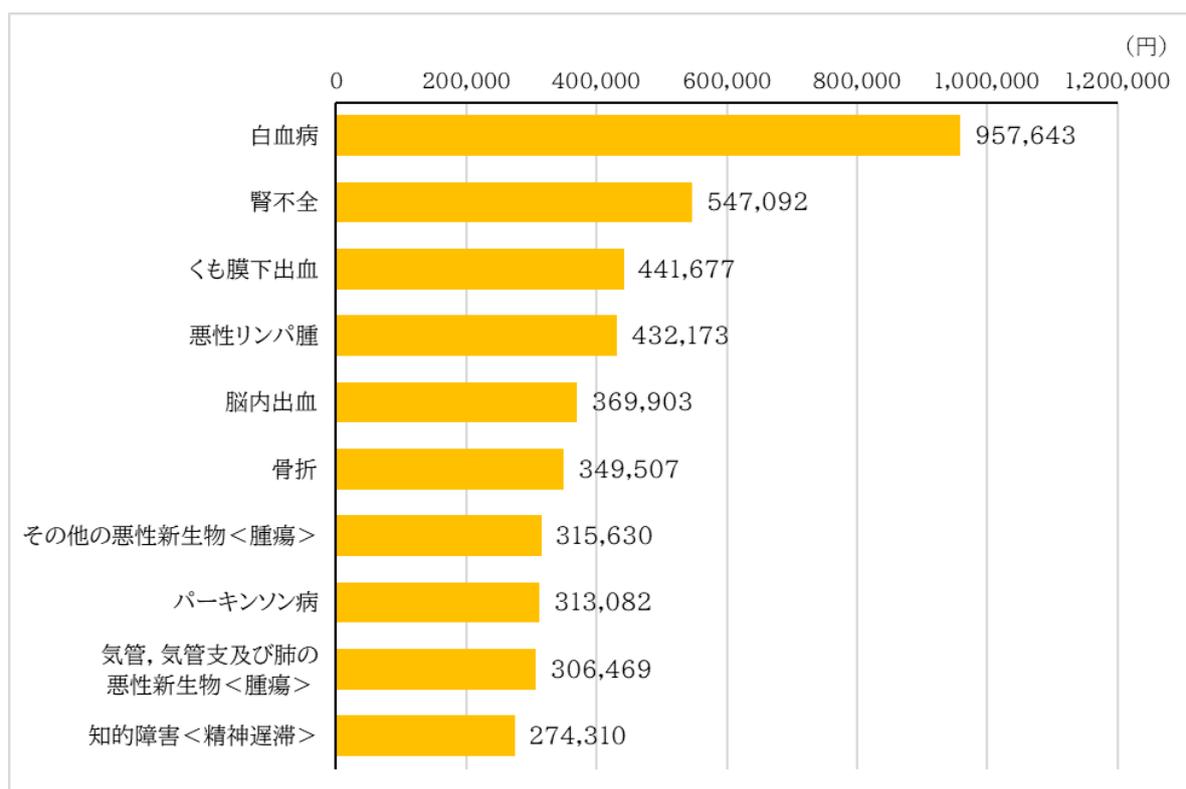
未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

※1 中分類疾病の「その他の～」の分類名の詳細な説明についてはP12 参照。

同じく、「患者一人当たり医療費」の上位10疾病を下表および下図に示します。

【令和4年度 中分類による疾病^(※1)別医療費 患者一人当たり医療費上位10疾病】

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209 白血病	431,897,073	451	957,643
2	1402 腎不全	7,548,770,867	13,798	547,092
3	0904 くも膜下出血	324,632,955	735	441,677
4	0208 悪性リンパ腫	895,462,635	2,072	432,173
5	0905 脳内出血	1,298,359,654	3,510	369,903
6	1901 骨折	6,679,770,557	19,112	349,507
7	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	7,625,305,104	24,159	315,630
8	0601 パーキンソン病	1,324,963,962	4,232	313,082
9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2,004,919,579	6,542	306,469
10	0506 知的障害<精神遅滞>	27,979,610	102	274,310



※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

※1 中分類疾病の「その他の～」の分類名の詳細な説明については P12 参照。

※1 中分類の疾病分類における「その他の～」の分類名について

- 「その他の悪性新生物<腫瘍>」:「新生物<腫瘍>」のうち、「胃の悪性新生物<腫瘍>」、「結腸の悪性新生物<腫瘍>」、「直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>」、「肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」、「乳房の悪性新生物<腫瘍>」、「子宮の悪性新生物<腫瘍>」、「悪性リンパ腫」、「白血病」、「良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>」のいずれにも分類されないもの
- 「その他の神経系の疾患」:「神経系の疾患」のうち、「パーキンソン病」、「アルツハイマー病」、「てんかん」、「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」、「自律神経系の障害」、「その他の神経系の疾患」のいずれにも分類されないもの
- 「その他の眼及び付属器の疾患」:「眼及び付属器の疾患」のうち、「結膜炎」、「白内障」、「屈折及び調節の障害」のいずれにも分類されないもの
- 「その他の心疾患」:「心疾患」のうち、「虚血性心疾患」に分類されないもの
- 「その他の消化器系の疾患」:「消化器疾患」のうち、「う蝕」、「歯肉炎及び歯周疾患」、「その他の歯及び歯の支持組織の障害」、「胃潰瘍及び十二指腸潰瘍」、「胃炎及び十二指腸炎」、「痔核」、「アルコール性肝疾患」、「慢性肝炎」、「肝硬変」、「その他の肝疾患」、「胆石症及び胆のう炎」、「膵疾患」のいずれにも分類されないもの
- 「その他の皮膚及び皮下組織の疾患」:「皮膚及び皮下組織の疾患」のうち、「皮膚及び皮下組織の感染症」、「皮膚炎及び湿疹」のいずれにも分類されないもの
- 「その他の筋骨格系及び結合組織の疾患」:「筋骨格系及び結合組織の疾患」のうち、「炎症性多発性関節障害」、「関節症」、「脊椎障害(脊椎症を含む)」、「椎間板障害」、「頸腕症候群」、「腰痛症及び坐骨神経痛」、「その他の脊柱障害」、「肩の傷害<損傷>」、「骨の密度及び構造の障害」のいずれにも分類されないもの
- 「その他の損傷及びその他の外因の影響」:「損傷、中毒及びその他の外因の影響」のうち、「骨折」、「頭蓋内損傷及び内臓の損傷」、「熱傷及び腐食」、「中毒」のいずれにも分類されないもの
- 「その他の呼吸器系の疾患」:「呼吸器系の疾患」のうち、「急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>」、「急性咽頭炎及び急性扁桃炎」、「その他の急性上気道感染症」、「肺炎」、「急性気管支炎及び急性細気管支炎」、「アレルギー性鼻炎」、「慢性副鼻腔炎」、「急性又は慢性と明示されない気管支炎」、「慢性閉塞性肺疾患」、「喘息」のいずれにも分類されないもの
- 「その他の特殊目的用コード」:「特殊目的用コード」のうち、「重症急性呼吸器症候群[SARS]」にも分類されないもの
- 「その他の循環器系の疾患」:「循環器系の疾患」のうち、「高血圧性疾患」、「虚血性心疾患」、「その他の心疾患」、「くも膜下出血」、「脳内出血」、「脳梗塞」、「脳動脈硬化(症)」、「その他の脳血管疾患」、「動脈硬化(症)」、「低血圧(症)」のいずれにも分類されないもの

(参考)疾病の大分類および中分類の構成表

I. 感染症及び寄生虫症	VI. 神経系の疾患	X I. 消化器系の疾患	XVII. 周産期に発生した病態
0101 腸管感染症	0601 パーキンソン病	1101 う蝕	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害
0102 結核	0602 アルツハイマー病	1102 歯肉炎及び歯周疾患	1602 その他の周産期に発生した病態
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	0603 てんかん	1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害	XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	1701 心臓の先天奇形
0105 ウイルス性肝炎	0605 自律神経系の障害	1105 胃炎及び十二指腸炎	1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常
0106 その他のウイルス性疾患	0606 その他の神経系の疾患	1106 痔核	XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
0107 真菌症	VII. 眼及び付属器の疾患	1107 アルコール性肝疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	0701 結膜炎	1108 慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
0109 その他の感染症及び寄生虫症	0702 白内障	1109 肝硬変(アルコール性のものを除く)	1901 骨折
II. 新生物<腫瘍>	0703 屈折及び調節の障害	1110 その他の肝疾患	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1111 胆石症及び胆のう炎	1903 熱傷及び腐食
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	VIII. 耳及び乳突突起の疾患	1112 膵疾患	1904 中毒
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	0801 外耳炎	1113 その他の消化器系の疾患	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	0802 その他の外耳疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	XX I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	0803 中耳炎	1201 皮膚及び皮下組織の感染症	2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	0804 その他の中耳及び乳突突起の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	2102 予防接種
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	0805 メニエール病	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2103 正常妊娠及び産じょく管理並びに家族計画
0208 悪性リンパ腫	0806 その他の内耳疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2104 歯の補綴
0209 白血病	0807 その他の耳疾患	1301 炎症性多発性関節障害	2105 特定の処置(歯の補綴を除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	1302 関節症	2106 その他の理由による保健サービスの利用者
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	0901 高血圧性疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	XX II. 特殊目的用コード
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0902 虚血性心疾患	1304 椎間板障害	2210 重症急性呼吸器症候群[SARS]
0301 貧血	0903 その他の心疾患	1305 頸腕症候群	2220 その他の特殊目的用コード
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0904 くも膜下出血	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	分類外
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0905 脳内出血	1307 その他の脊柱障害	9999 分類外
0401 甲状腺障害	0906 脳梗塞	1308 肩の傷害<損傷>	
0402 糖尿病	0907 脳動脈硬化(症)	1309 骨の密度及び構造の障害	
0403 脂質異常症	0908 その他の脳血管疾患	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	0909 動脈硬化(症)	XIV. 腎路生殖器系の疾患	
V. 精神及び行動の障害	0911 低血圧(症)	1401 糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	0912 その他の循環器系の疾患	1402 腎不全	
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	1403 尿路結石症	
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1001 急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	1404 その他の腎路系疾患	
0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	1405 前立腺肥大(症)	
0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1003 その他の急性上気道感染症	1406 その他の男性生殖器の疾患	
0506 知的障害<精神遅滞>	1004 肺炎	1407 月経障害及び閉経周辺期障害	
0507 その他の精神及び行動の障害	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	
	1006 アレルギー性鼻炎	XV. 妊娠、分娩及び産じょく	
	1007 慢性副鼻腔炎	1501 流産	
	1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎	1502 妊娠高血圧症候群	
	1009 慢性閉塞性肺疾患	1503 単胎自然分娩	
	1010 喘息	1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	
	1011 その他の呼吸器系の疾患		

3. 高額レセプトの分析

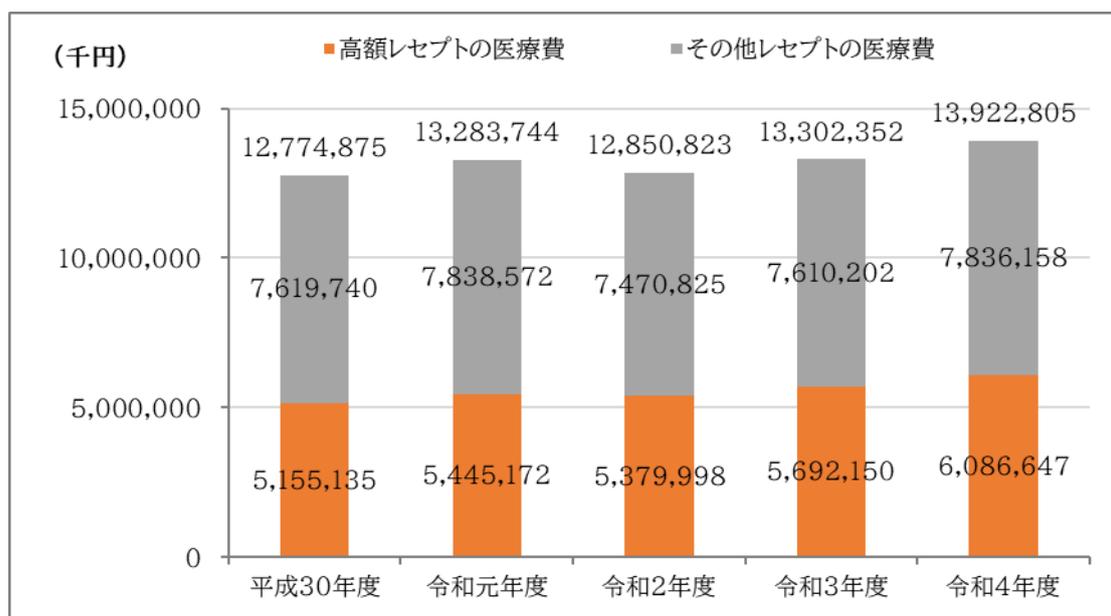
平成30年度から令和4年度の5万点以上の「高額レセプトの件数及び割合」並びに「高額レセプトの医療費」の推移を下表および下図に示します。

【高額(5万点以上)レセプト件数及び割合(12カ月平均)】

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
A	レセプト件数(件)	258,809	267,688	256,648	266,107	281,205
B	高額レセプト件数(件)	5,689	5,949	5,817	6,006	6,387
B/A	総レセプト件数に占める 高額レセプトの割合(%)	2.2%	2.2%	2.3%	2.3%	2.3%
C	医療費全体(円)	12,774,874,959	13,283,744,144	12,850,823,306	13,302,351,973	13,922,805,037
D	高額レセプトの医療費(円)	5,155,135,444	5,445,171,738	5,379,998,161	5,692,149,809	6,086,646,828
E	その他レセプトの医療費(円)	7,619,739,515	7,838,572,407	7,470,825,145	7,610,202,163	7,836,158,208
D/C	総医療費に占める 高額レセプトの割合(%)	40.4%	41.0%	41.9%	42.8%	43.7%

※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

【高額レセプト医療費の推移】



※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

次に、令和4年度の「年齢階層別 高額レセプト医療費」を下表に示します。

【高額(5万点以上)レセプト 年齢階層別医療費(令和4年度)】

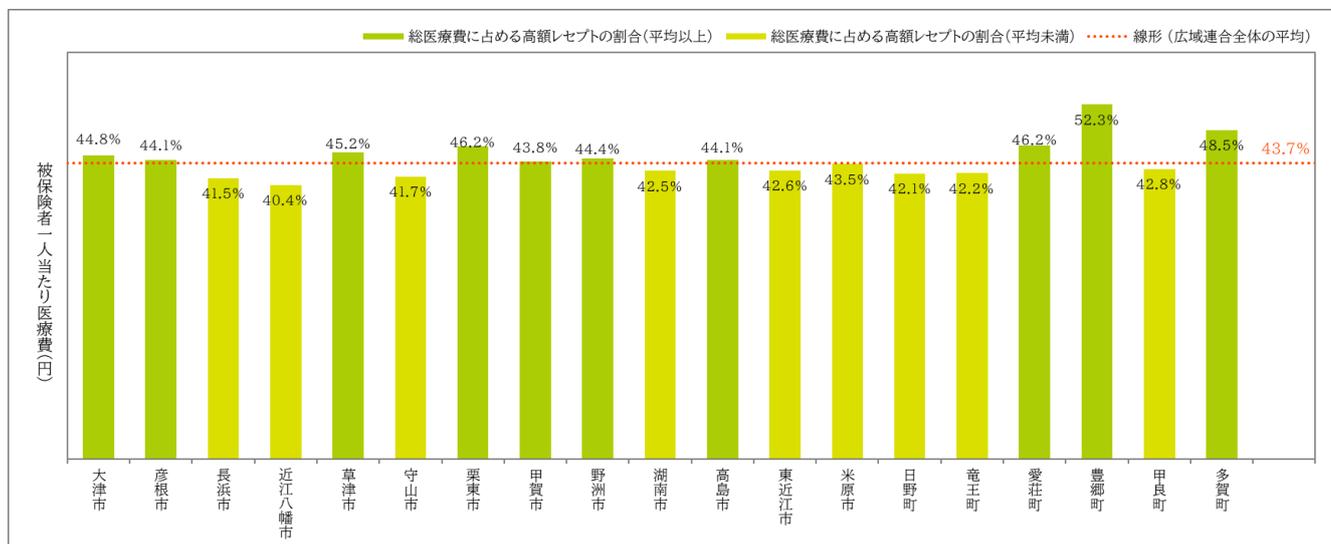
年齢階層	入院(円)	入院外(円)	総計(円)	構成比(%)
65歳～69歳	236,331,200	16,816,610	253,147,810	0.4%
70歳～74歳	756,993,940	113,703,500	870,697,440	1.2%
75歳～79歳	15,034,754,560	3,215,867,440	18,250,622,000	25.0%
80歳～84歳	17,968,836,040	2,229,531,930	20,198,367,970	27.7%
85歳～89歳	16,781,696,850	810,407,020	17,592,103,870	24.1%
90歳～94歳	11,137,982,080	149,597,620	11,287,579,700	15.5%
95歳～	4,566,887,680	20,355,470	4,587,243,150	6.3%
合計	66,483,482,350	6,556,279,590	73,039,761,940	

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

※年齢は、令和4年度3月31日時点。

また、市町別の「総医療費に占める高額レセプトの割合」を下図に示します。

【総医療費に占める高額レセプトの割合(令和4年度)】



※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

次に、高額レセプトを中分類疾病^(※1)別に分類し、令和4年度の患者数上位20疾病を下表に示します。

【高額(5万点以上)レセプト 中分類疾病の患者数上位20疾病(令和4年度)】

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 (上位3疾病まで記載)	患者数 (人)	医療費(千円)			患者一人当 たり医療費 (千円)
					入院	入院外	合計	
1	1901	骨折	大腿骨転子部骨折,大腿骨頸部骨折,腰椎圧迫骨折	3,310	5,575,186	38,829	5,614,015	1,696
2	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全,慢性心不全,心不全	2,959	3,895,878	305,250	4,201,128	1,420
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	多発性骨髄腫,前立腺癌,去勢抵抗性前立腺癌	2,339	2,021,132	2,929,261	4,950,394	2,116
4	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群,人工股関節周囲骨折,好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2,324	2,787,639	35,195	2,822,834	1,215
5	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎,間質性肺炎,インフルエンザ	1,701	2,019,137	175,217	2,194,353	1,290
6	0906	脳梗塞	脳梗塞,心原性脳塞栓症,アテローム血栓性脳梗塞	1,525	3,488,955	11,642	3,500,597	2,295
7	1113	その他の消化器系の疾患	便秘症,難治性逆流性食道炎,急性胆管炎	1,518	1,368,871	92,380	1,461,251	963
8	1402	腎不全	慢性腎不全,腎性貧血,末期腎不全	1,352	1,913,478	2,263,789	4,177,267	3,090
9	0901	高血圧性疾患	高血圧症,本態性高血圧症,高血圧性緊急症	1,290	984,934	66,601	1,051,535	815
10	0902	虚血性心疾患	狭心症,労作性狭心症,不安定狭心症	1,102	1,050,231	36,521	1,086,752	986
11	0606	その他の神経系の疾患	不眠症,レビー小体型認知症,低酸素性脳症	853	1,031,768	532,684	1,564,452	1,834
12	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	褥瘡,仙骨部褥瘡,皮脂欠乏症	798	1,085,622	38,308	1,123,930	1,408
13	2220	その他の特殊目的用コード	COVID-19,COVID-19肺炎,COVID-19後遺症	766	645,284	31,339	676,622	883
14	0205	気管,気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌,下葉肺癌,肺癌	741	667,802	859,539	1,527,341	2,061
15	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	頸髄損傷,術中異常高血圧症,ペースメーカー電池消耗	656	804,184	9,028	813,212	1,240
16	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤,急性大動脈解離StanfordA,深部静脈血栓症	645	800,303	12,922	813,225	1,261
17	1302	関節症	変形性膝関節症,変形性股関節症,両側性変形性膝関節症	634	740,070	30,423	770,493	1,215
18	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	嚥下障害,癌性疼痛,運動器不安定症	605	664,284	9,695	673,980	1,114
19	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症,頸椎症性脊髄症,広範脊柱管狭窄症	574	833,520	25,296	858,817	1,496
20	1004	肺炎	細菌性肺炎,肺炎,急性肺炎	565	590,149	1,634	591,783	1,047

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

※1 中分類疾病の「その他の～」の分類名の詳細な説明については P12 参照。

次に、高額レセプトを中分類疾病^(※1)別に分類し、令和4年度の患者一人当たり医療費上位20疾病を下表に示します。

【高額(5万点以上)レセプト 中分類疾病の患者一人当たり医療費上位20疾病(令和4年度)】

順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 (上位3疾病まで記載)	患者数 (人)	医療費(千円)			患者一人当 たり医療費 (千円)
				入院	入院外	合計	
1	0105	ウイルス性肝炎	39	16,546	120,800	137,345	3,522
2	0904	くも膜下出血	87	291,773	488	292,261	3,359
3	0209	白血病	123	187,822	193,403	381,225	3,099
4	1402	腎不全	1,352	1,913,478	2,263,789	4,177,267	3,090
5	0208	悪性リンパ腫	245	444,752	293,188	737,940	3,012
6	0905	脳内出血	381	1,140,666	2,300	1,142,966	3,000
7	0907	脳動脈硬化(症)	1	2,642	0	2,642	2,642
8	0906	脳梗塞	1,525	3,488,955	11,642	3,500,597	2,295
9	0605	自律神経系の障害	22	48,642	868	49,509	2,250
10	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	22	46,912	166	47,078	2,140
11	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	2,339	2,021,132	2,929,261	4,950,394	2,116
12	0601	パーキンソン病	352	685,836	44,172	730,008	2,074
13	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	741	667,802	859,539	1,527,341	2,061
14	0602	アルツハイマー病	543	1,039,406	11,667	1,051,073	1,936
15	0102	結核	25	47,947	293	48,240	1,930
16	0501	血管性及び詳細不明の認知症	213	398,573	1,639	400,212	1,879
17	1904	中毒	5	9,291	9	9,300	1,860
18	0606	その他の神経系の疾患	853	1,031,768	532,684	1,564,452	1,834
19	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	249	449,859	1,356	451,215	1,812
20	0506	知的障害<精神遅滞>	6	10,032	741	10,772	1,795

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

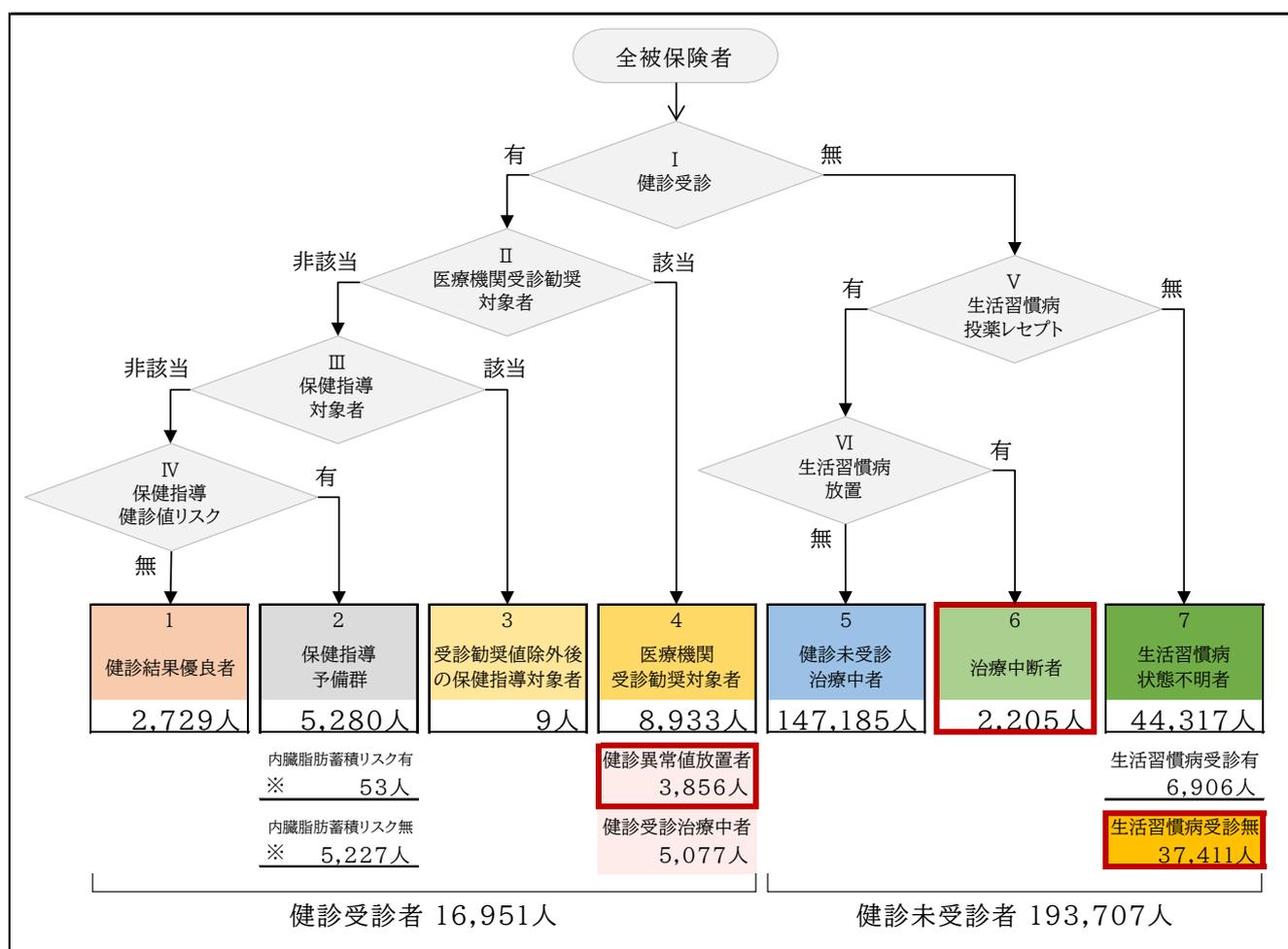
※1 中分類疾病の「その他の～」の分類名の詳細な説明についてはP12参照。

4. 健診およびレセプトの分析結果

(1) 保健指導対象者のグループ化

令和4年度の「健康診断の受診状況」および「レセプトによる医療機関の受診状況」より、保健指導対象群にグループ分けし、その人数を下図に示します。

【健診およびレセプトデータによる保健指導対象者群(令和4年度)】



【フローの説明】

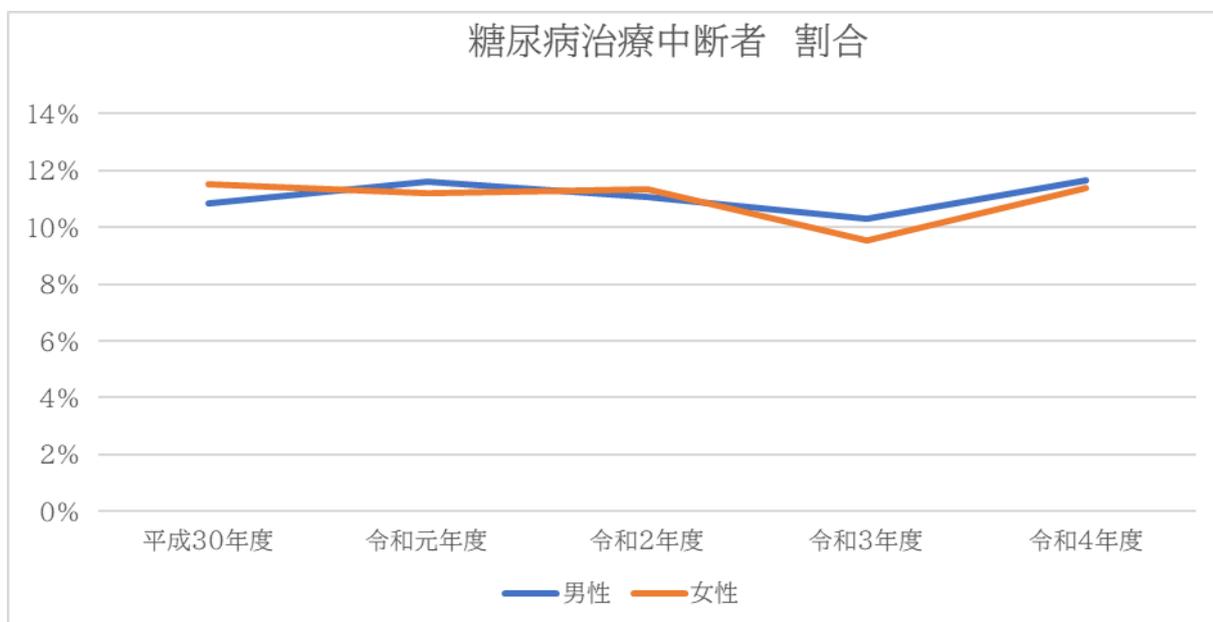
- I. 健診受診：健診受診の有無を判定。
- II. 医療機関受診勧奨対象者：健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III. 保健指導対象者：厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に沿って、医師が判断した保健指導レベルで保健指導対象者に該当するか判定。
- IV. 保健指導健診値リスク：厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V. 生活習慣病投薬レセプト：生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)の疾病に関する、投薬の有無を判定。
- VI. 生活習慣病放置：生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

※データ分析対象は、令和4年度の全被保険者、医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトおよび健康診断受診者のデータを使用。

次に、平成30年度から令和4年度の糖尿病の治療中断者^(※2)の人数とその割合の推移を下表と下図に示します。

【糖尿病治療中断者の推移】

	性別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
患者数(人)	男性	3,269	3,190	3,013	2,911	3,069
	女性	3,609	3,502	3,242	3,101	3,218
治療中断者数(人)	男性	354	370	333	300	358
	女性	416	393	367	296	366
治療中断者割合(%)	男性	10.8%	11.6%	11.1%	10.3%	11.7%
	女性	11.5%	11.2%	11.3%	9.6%	11.4%



※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

※2)治療中断者とは、各年度の4月から12月の間に4ヶ月以上受診をしていたが、1月から3月まで受診がない人とした。

前々ページの「健診およびレセプトデータによる保健指導対象者群(令和4年度)」で示した「7生活習慣病状態不明者」内の「生活習慣病の受診がない人」の市町別人数を下表に示します。これは、「要介護認定者を含む」ため、「要介護認定者を含まない」人数(b)を併記しています。また、この人数の被保険者数に対する割合を示します。

【健診状態不明者およびその割合(令和4年度)】

	市町	被保険者数(人) (a)	健康状態不明者数(人)		要介護認定者を含まない 健康状態不明者の割合 (b/a)
			要介護認定者 を含む	要介護認定者 を含まない (b)	
1	大津市	47,648	10,067	6,590	13.8%
2	彦根市	14,888	2,758	1,783	12.0%
3	長浜市	17,989	3,245	2,018	11.2%
4	近江八幡市	11,748	2,042	1,370	11.7%
5	草津市	15,761	3,142	2,171	13.8%
6	守山市	9,617	1,647	1,124	11.7%
7	栗東市	6,732	1,313	889	13.2%
8	甲賀市	13,234	2,396	1,520	11.5%
9	野洲市	7,104	1,256	807	11.4%
10	湖南市	6,492	1,186	853	13.1%
11	高島市	8,935	1,754	1,019	11.4%
12	東近江市	15,626	2,975	1,921	12.3%
13	米原市	6,339	1,577	973	15.3%
14	日野町	3,429	632	402	11.7%
15	竜王町	1,603	304	202	12.6%
16	愛荘町	2,500	448	274	11.0%
17	豊郷町	929	188	113	12.2%
18	甲良町	1,192	236	151	12.7%
19	多賀町	1,337	245	151	11.3%
広域連合全体		193,103	37,411	24,331	12.6%

※データ分析対象は、令和4年度の全被保険者、医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプト、介護認定者および健康診断受診者のデータを使用。

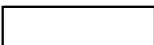
(2)健診の検査結果に係る分析

次に、令和4年度の健康診断結果の空腹時血糖および HbA1cの区分より糖尿病判定を行い、保健指導対象群にグループ分け(濃い赤側はリスクが高い)した人数を下表に示します。

【空腹時血糖および HbA1cの区分より糖尿病判定(令和4年度)】

単位:人

		HbA1c(NGSP) (ヘモグロビンA1c)					計	
		正常				糖尿病型		未測定
		~ 5.5%	5.6% ~	6.0% ~	6.5% ~			
空腹時血糖	正常	~ 99mg/dl	267	150	44	3	5,047	5,511
	正常高値	100mg/dl ~	41	59	47	6	1,216	1,369
	空腹時血糖異常	110mg/dl ~	17	21	37	12	550	637
	糖尿病型	126mg/dl ~	5	9	6	23	280	323
	未測定			4,886	2,448	1,252	518	7
計			5,216	2,687	1,386	562	7,100	16,951

糖尿病		=23人	0.1%
糖尿病型		=41人	0.2%
境界型		=75人	0.4%
正常型		=608人	3.6%
不明		=16,204人	95.6%

※データ分析対象は、令和4年度の健康診断結果のデータを使用。

5. 腎症重症化予防の状況

(1)人工透析患者の状況

平成30年度から令和4年度の透析患者の推移を下表に示します。

【透析患者数の推移】

透析療法の種類	透析患者数(人)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
血液透析のみ	2,200	2,269	2,212	2,210	2,242
腹膜透析のみ	43	55	61	59	65
血液透析及び腹膜透析	32	25	32	32	31
透析患者合計	2,275	2,349	2,305	2,301	2,338

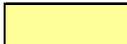
※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

次に、透析に関連する慢性腎臓病(CKD)の重症度を、令和4年度健康診断結果のeGFRおよび尿蛋白の区分から、保健指導対象群にグループ分け(IV側はリスクが高い)した人数を下表に示します。

【慢性腎臓病(CKD)の重症度分類(令和4年度)】

単位:人

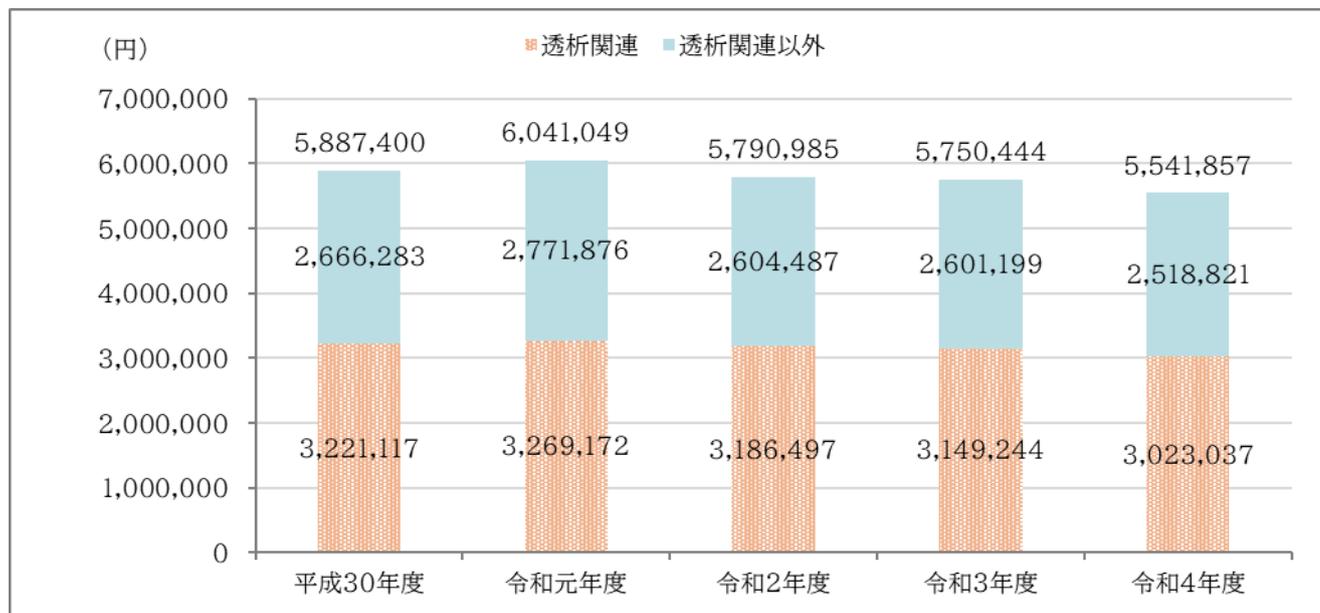
				尿蛋白区分					計	
				A1	A2	A3				未測定
				(-)	(±)	(1+)	(2+)	(3+)		
eGFR区分 (mL/分/ 1.73m)	G1	正常または 高値	≥ 90	556	80	27	12	2	5	682
	G2	正常または 軽度低下	60 ~ 89	8,494	1,384	485	85	21	33	10,502
	G3a	軽度～ 中等度低下	45 ~ 59	3,781	669	331	79	20	27	4,907
	G3b	中等度～ 高度低下	30 ~ 44	496	123	98	34	14	8	773
	G4	高度低下	15 ~ 29	22	13	18	9	6	4	72
	G5	末期腎不全	< 15	2	0	2	2	3	5	14
	未測定				1	0	0	0	0	0
計				13,352	2,269	961	221	66	82	16,951

IV		=776人	4.6%
III		=1,797人	10.6%
II		=5,245人	30.9%
I		=9,050人	53.4%
不明		=83人	0.5%

※データ分析対象は、令和4年度の健康診断結果のデータを使用。

次に、透析患者の医療費を、透析関連(中分類の腎不全[1402]に該当する疾病)とそれ以外で集計した結果を下図に示します。

【透析患者の医療費の推移】



※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

さらに、透析に至ったと推定される起因疾病別に、人数を集計した結果を下表に示します。

【透析患者の起因疾病別人数の推移】

透析患者の起因	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	患者数 (人)	割合 (%)								
① 糖尿病性腎症	861	37.8%	916	39.0%	913	39.6%	908	39.5%	954	40.8%
② 腎硬化症	95	4.2%	95	4.0%	118	5.1%	105	4.6%	123	5.3%
③ 糸球体腎炎	52	2.3%	62	2.6%	58	2.5%	51	2.2%	59	2.5%
④ 多発性のう胞腎	16	0.7%	19	0.8%	15	0.7%	16	0.7%	11	0.5%
⑤ その他	1,280	56.3%	1,294	55.1%	1,246	54.1%	1,260	54.8%	1,239	53.0%
透析患者合計	2,275		2,349		2,305		2,301		2,338	

※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

※透析に至った起因疾病は、同年度内に①～④の関連疾病と診断されているかどうかで推定。

※透析の起因疾病は、複数の疾病に該当する場合があります。患者数とその割合、医療費は重複して集計。

そのため、これらの縦の合計は透析患者全体の値とはならない。

また、同じく起因疾病別に令和4年度の透析患者の医療費を集計した結果を下表に示します。

【透析患者の起因疾病別医療費(令和4年度)】

透析患者の起因		透析患者数 (人)	割合 (%)	医療費(円)		
				透析関連	透析関連 以外	合計
①	糖尿病性腎症	954	40.8%	2,334,157,480	2,278,903,060	4,613,060,540
②	腎硬化症	123	5.3%	367,011,370	290,327,790	657,339,160
③	糸球体腎炎	59	2.5%	150,570,050	132,113,860	282,683,910
④	多発性のう胞腎	11	0.5%	37,637,830	24,023,400	61,661,230
⑤	その他	1,239	53.0%	3,801,877,970	2,872,968,320	6,674,846,290
透析患者全体		2,338		6,569,058,500	5,473,397,790	12,042,456,290

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

※透析に至った起因疾病は、同年度内に①～④の関連疾病と診断されているかどうかで推定。

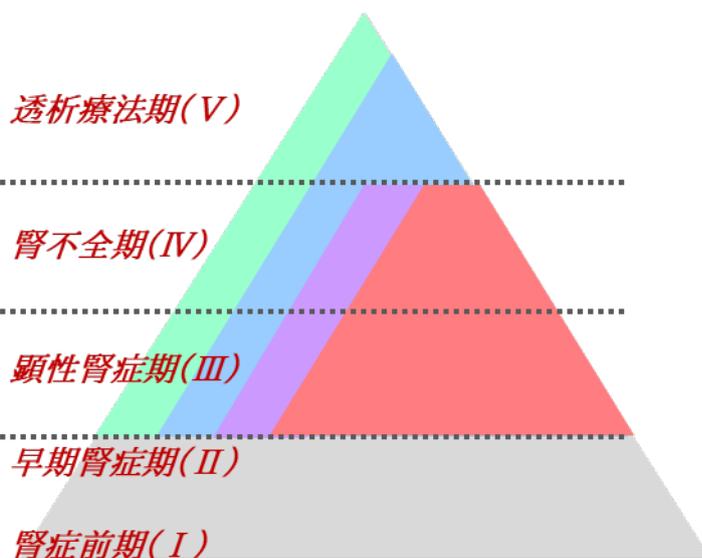
※透析の起因疾病は、複数の疾病に該当する場合があります、患者数とその割合、医療費は重複して集計。

そのため、これらの縦の合計は透析患者全体の値とはならない。

(2) 指導対象者集団の特定

腎臓病は、その進行度によりステージ(病期)第Ⅰ期から第Ⅴ期の5段階に分けられます。

平成30年度から令和4年度の健康診断の受診結果およびレセプトの診断結果より、各ステージの該当者を抽出し、さらに指導対象として適切な人を絞り込んだ結果を下表に示します。



(人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
Ⅲ期以降腎症患者	21,735	22,689	23,059	24,260	26,223
糖尿病起因以外の腎臓病患者	10,385	10,674	10,727	10,952	11,659
指導対象として適切でない患者 (透析患者、1型糖尿病の人等)	1,391	1,430	1,455	1,461	1,531
複雑なケースが含まれる集団 (がん、難病、精神疾患、認知症等の疾患がある)	5,852	6,201	6,277	6,662	7,249
保健指導の効果が期待できる集団	4,277	4,517	4,442	4,806	5,326

※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

6. 適正受診の状況

多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)患者について経年の推移を下表に示します。

【重複受診者数の推移】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
12カ月の延べ人数(人)	5,195	5,277	4,632	4,794	5,341
12カ月の実人数(人)	3,431	3,519	3,156	3,246	3,668

※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

※重複受診者数は、1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診した患者。透析患者は対象外。

【頻回受診者数の推移】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
12カ月の延べ人数(人)	17,412	17,106	14,754	14,130	13,686
12カ月の実人数(人)	4,918	4,857	4,345	4,178	4,179

※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

※頻回受診者数は、1カ月間で12回以上受診した患者。透析患者は対象外。

【重複服薬者数の推移】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
12カ月の延べ人数(人)	6,915	7,322	7,020	7,273	8,199
12カ月の実人数(人)	4,798	5,088	4,940	5,134	5,923

※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

※重複服薬者数は、同系医薬品を複数医療機関から処方され、処方日数合計が60日を超えた月が、3ヶ月間連続した患者。

また、多受診が多い疾病や薬剤について、令和4年度の上位10疾病と薬剤を下表に示します。

【重複受診となる疾病上位10疾病】

順位	病名	分類	割合(%)
1	高血圧症	循環器系の疾患	2.4%
2	便秘症	消化器系の疾患	2.0%
3	歯周炎	消化器系の疾患	1.4%
4	腰痛症	筋骨格系及び結合組織の疾患	1.2%
5	湿疹	皮膚及び皮下組織の疾患	1.2%
6	不眠症	神経系の疾患	1.2%
7	高コレステロール血症	内分泌、栄養及び代謝疾患	1.1%
8	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	1.1%
9	難治性逆流性食道炎	消化器系の疾患	1.0%
10	COVID-19	特殊目的用コード	1.0%

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

【頻回受診となる疾病上位10疾病】

順位	病名	分類	割合(%)
1	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.4%
2	変形性腰椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	3.7%
3	腰部脊柱管狭窄症	筋骨格系及び結合組織の疾患	3.0%
4	高血圧症	循環器系の疾患	3.0%
5	肩関節周囲炎	筋骨格系及び結合組織の疾患	2.8%
6	便秘症	消化器系の疾患	2.5%
7	骨粗鬆症	筋骨格系及び結合組織の疾患	2.4%
8	変形性頸椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	1.6%
9	変形性脊椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	1.6%
10	腰痛症	筋骨格系及び結合組織の疾患	1.5%

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

【重複服薬となる薬剤を効能毎にまとめ、その上位10薬剤】

順位	薬品名 ^(※3)	効能	割合(%)
1	マグミット錠330mg	制酸薬	21.6%
2	アムロジピンOD錠5mg「トーワ」	血圧降下薬	9.0%
3	レバミピド錠100mg「オーツカ」	消化性潰瘍用薬	4.5%
4	カロナール錠200 200mg	鎮痛解熱薬	4.3%
5	ピソプロロールフマル酸塩錠2.5mg「日医工」	血圧降下薬	3.8%
6	フロセミド錠20mg「NP」	利尿薬	3.6%
7	ロキソニン錠60mg	非ステロイド性消炎鎮痛薬	2.5%
8	アダラートCR錠20mg	血圧降下薬	2.3%
9	デパス錠0.5mg	抗不安薬	2.1%
10	ドネペジル塩酸塩OD錠5mg「明治」	アルツハイマー型認知症改善薬	2.0%

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

※3)薬品名は、効能毎にまとめた薬剤の中で、最も多く処方された薬品名。

次に、平成30年度から令和4年度の併用禁忌の発生件数および対象者数の推移を下表に示します。

【併用禁忌の発生件数および対象者数の推移】

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
件数 (件)	平成30年度	17	37	32	30	40	31	40	35	41	49	30	49	431
	令和元年度	29	34	30	42	44	28	42	49	34	39	33	35	439
	令和2年度	8	10	28	28	19	18	22	15	30	6	17	22	223
	令和3年度	8	17	28	20	15	21	33	11	28	20	25	31	257
	令和4年度	21	19	21	27	24	28	36	26	25	35	30	30	322
対象者数 (人)	平成30年度	13	19	21	22	25	20	29	26	31	37	24	35	201
	令和元年度	23	23	26	30	30	21	32	39	27	32	21	27	213
	令和2年度	6	8	15	20	13	15	17	11	14	4	11	15	97
	令和3年度	7	9	15	14	13	15	21	10	16	15	18	23	108
	令和4年度	18	15	16	20	17	18	24	17	19	27	25	23	133

※データ分析対象は、平成30年度から令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

※対象者が複数月で併用禁忌となる場合があるため、年間の対象者数は各月の合計とはならない。

また、令和4年度に「併用禁忌となった医薬品」の件数上位10件の組合せを示します。

【併用禁忌となった医薬品一覧(令和4年度)】

順位	医薬品A			医薬品B			件数
	剤形	医薬品コード	医薬品名	剤形	医薬品コード	医薬品名	
1	内服	622794701	ラツーダ錠20mg	内服	621753001	クラリスロマイシンDS小児用10%「トーフ」 100mg	28
2	内服	612120303	タンボコール錠50mg	内服	622093301	ベタニス錠50mg	26
3	内服	622624401	アジレクト錠1mg	外用	620004822	プリピナ液0.05%	26
4	内服	622281101	タクロリムス錠1.5mg「トーフ」	内服	620004915	アルダクトンA錠25mg	17
5	内服	613990096	プログラフカプセル1mg	内服	620004915	アルダクトンA錠25mg	13
6	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	内服	616140102	クラリシッド錠200mg	11
7	内服	622517401	ベルソムラ錠10mg	内服	616140105	クラリス錠200 200mg	9
8	内服	622633003	フレカイニド酢酸塩錠50mg「VTRS」	内服	622093301	ベタニス錠50mg	8
9	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	内服	616140105	クラリス錠200 200mg	7
10	内服	622688101	ミニリンメルトOD錠25μg	外用	622678901	テリルジー100エリプタ30吸入用	7

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

7. 要介護度別医療費の状況

令和4年度の中分類疾病^(※1)別の医療費を要介護度別に集計し、「医療費」、「患者数」の上位5疾病を下表に示します。

【令和4年度 要介護度別医療費上位5疾病】

順位	要支援1		要支援2		要介護1	
	疾病分類	医療費(千円)	疾病分類	医療費(千円)	疾病分類	医療費(千円)
1	0903 その他の心疾患	586,861	1402 腎不全	774,839	0903 その他の心疾患	1,171,237
2	1113 その他の消化器系の疾患	448,889	0903 その他の心疾患	708,955	1901 骨折	939,290
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	360,754	1113 その他の消化器系の疾患	598,536	1113 その他の消化器系の疾患	872,336
4	0901 高血圧性疾患	339,082	1901 骨折	508,915	0901 高血圧性疾患	610,949
5	1901 骨折	322,817	0901 高血圧性疾患	416,414	1402 腎不全	583,603

順位	要介護2		要介護3		要介護4		要介護5	
	疾病分類	医療費(千円)	疾病分類	医療費(千円)	疾病分類	医療費(千円)	疾病分類	医療費(千円)
1	0903 その他の心疾患	1,319,832	1901 骨折	1,321,386	0903 その他の心疾患	1,353,933	1113 その他の消化器系の疾患	1,054,864
2	1402 腎不全	1,246,672	0903 その他の心疾患	1,252,008	1113 その他の消化器系の疾患	1,197,355	0903 その他の心疾患	949,799
3	1901 骨折	1,146,428	1113 その他の消化器系の疾患	1,040,742	1901 骨折	1,135,478	0906 脳梗塞	937,197
4	1113 その他の消化器系の疾患	1,049,138	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	747,076	0906 脳梗塞	1,094,943	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	926,949
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	668,217	0906 脳梗塞	715,956	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,003,455	1011 その他の呼吸器系の疾患	842,084

【令和4年度 要介護度別患者数上位5疾病】

順位	要支援1		要支援2		要介護1	
	疾病分類	患者数(人)	疾病分類	患者数(人)	疾病分類	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	6,171	0901 高血圧性疾患	6,729	0901 高血圧性疾患	10,558
2	1113 その他の消化器系の疾患	5,920	1113 その他の消化器系の疾患	6,647	1113 その他の消化器系の疾患	9,833
3	0903 その他の心疾患	4,321	0903 その他の心疾患	5,016	0903 その他の心疾患	7,882
4	0403 脂質異常症	3,893	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,204	0403 脂質異常症	6,035
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,609	0403 脂質異常症	4,117	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,967

順位	要介護2		要介護3		要介護4		要介護5	
	疾病分類	患者数(人)	疾病分類	患者数(人)	疾病分類	患者数(人)	疾病分類	患者数(人)
1	1113 その他の消化器系の疾患	9,372	1113 その他の消化器系の疾患	8,603	1113 その他の消化器系の疾患	8,525	1113 その他の消化器系の疾患	6,148
2	0901 高血圧性疾患	9,252	0901 高血圧性疾患	7,498	0901 高血圧性疾患	6,629	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	4,587
3	0903 その他の心疾患	7,606	0903 その他の心疾患	6,392	0903 その他の心疾患	6,058	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,395
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,046	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	5,609	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	5,870	0901 高血圧性疾患	4,155
5	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	5,938	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,505	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,755	0903 その他の心疾患	4,028

同じく、「患者一人当たりの医療費」の上位5疾病を下表に示します。

【令和4年度 要介護度別一人当たり医療費上位5疾病】

順位	要支援1		要支援2		要介護1				
	疾病分類	患者一人当たりの医療費(円)	疾病分類	患者一人当たりの医療費(円)	疾病分類	患者一人当たりの医療費(円)			
1	0209	白血病	1,697,891	0209	白血病	1,034,507	0209	白血病	950,739
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	373,452	1402	腎不全	791,460	0208	悪性リンパ腫	487,385
3	1901	骨折	320,891	0208	悪性リンパ腫	757,503	1402	腎不全	468,382
4	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	301,320	1901	骨折	343,630	1901	骨折	441,603
5	0208	悪性リンパ腫	262,745	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	343,267	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	409,219

順位	要介護2		要介護3		要介護4		要介護5					
	疾病分類	患者一人当たりの医療費(円)	疾病分類	患者一人当たりの医療費(円)	疾病分類	患者一人当たりの医療費(円)	疾病分類	患者一人当たりの医療費(円)				
1	0209	白血病	1,103,570	0209	白血病	1,193,724	0208	悪性リンパ腫	772,806	0209	白血病	1,417,212
2	1402	腎不全	852,717	0208	悪性リンパ腫	660,679	0209	白血病	629,797	0904	くも膜下出血	958,349
3	1901	骨折	500,842	1402	腎不全	612,813	1901	骨折	624,232	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	879,716
4	0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	499,252	1901	骨折	604,477	1402	腎不全	614,416	0905	脳内出血	862,407
5	0208	悪性リンパ腫	493,854	1701	心臓の先天奇形	489,947	0904	くも膜下出血	610,811	1107	アルコール性肝疾患	765,812

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

※1 中分類疾病の「その他の～」の分類名の詳細な説明については P12 参照。

8. その他(フレイル識別 および 骨折の分析)

令和2年度から令和4年度の後期高齢者の質問票の回答結果を下表に示します。

【後期高齢者質問票の回答結果 推移】

類型名	No	質問文	回答	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
				人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
健康状態	1	あなたの現在の健康状態はいかがですか	よい	3,544	25.3%	3,142	21.1%	3,532	21.1%
			まあよい	2,356	16.8%	2,354	15.8%	2,575	15.4%
			ふつう	6,948	49.5%	8,182	54.9%	9,256	55.2%
			あまりよくない	1,032	7.4%	1,063	7.1%	1,193	7.1%
			よくない	147	1.0%	149	1.0%	210	1.3%
心の健康状態	2	毎日の生活に満足していますか	満足	7,509	53.4%	7,485	50.0%	8,405	50.0%
			やや満足	5,476	39.0%	6,195	41.4%	6,962	41.4%
			やや不満	969	6.9%	1,144	7.6%	1,298	7.7%
			不満	95	0.7%	153	1.0%	152	0.9%
食習慣	3	1日3食きちんと食べていますか	はい	13,548	96.3%	14,311	95.4%	16,018	95.2%
			いいえ	521	3.7%	684	4.6%	799	4.8%
口腔機能	4	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい	3,809	27.1%	4,279	28.6%	4,759	28.3%
			いいえ	10,236	72.9%	10,689	71.4%	12,076	71.7%
	5	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい	2,639	18.8%	2,801	18.7%	3,066	18.2%
			いいえ	11,403	81.2%	12,143	81.3%	13,741	81.8%
体重変化	6	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい	1,510	10.8%	1,539	10.3%	1,808	10.8%
			いいえ	12,490	89.2%	13,373	89.7%	14,982	89.2%
運動・転倒	7	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	はい	7,314	52.2%	8,096	54.1%	8,855	52.6%
			いいえ	6,709	47.8%	6,858	45.9%	7,976	47.4%
	8	この1年間に転んだことがありますか	はい	2,423	17.3%	2,541	16.9%	2,819	16.7%
			いいえ	11,613	82.7%	12,459	83.1%	14,017	83.3%
	9	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	はい	8,958	63.8%	9,391	62.9%	10,604	63.1%
			いいえ	5,075	36.2%	5,550	37.1%	6,206	36.9%
認知機能	10	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか	はい	2,125	15.1%	2,209	14.8%	2,436	14.5%
			いいえ	11,903	84.9%	12,752	85.2%	14,386	85.5%
	11	今日が何月何日かわからない時がありますか	はい	3,011	21.5%	3,129	21.0%	3,359	20.0%
			いいえ	10,980	78.5%	11,785	79.0%	13,412	80.0%
喫煙	12	あなたはたばこを吸いますか	吸っている	814	5.8%	885	5.9%	1,016	6.0%
			吸っていない	10,863	77.3%	11,734	78.4%	13,119	77.9%
			やめた	2,378	16.9%	2,352	15.7%	2,713	16.1%
社会参加	13	週に1回以上は外出していますか	はい	12,833	91.4%	13,625	91.0%	15,543	92.3%
			いいえ	1,206	8.6%	1,345	9.0%	1,292	7.7%
	14	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	はい	13,483	95.9%	14,334	95.6%	16,177	96.0%
			いいえ	570	4.1%	652	4.4%	677	4.0%
ソーシャルサポート	15	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	はい	13,400	95.4%	14,288	95.3%	16,095	95.5%
			いいえ	653	4.6%	700	4.7%	754	4.5%

※データ分析対象は、令和2年度から令和4年度の間診結果を使用。

この質問表の結果から「健康状態」「心の健康状態」「喫煙」を除いた12項目について、フレイル寄りの回答があった項目を集計しフレイル点数とします。そのフレイル点数毎の人数および割合を下表に示します。健康リスクがあると考えられる回答が4項目以上あるとフレイルの可能性があるとされています^(※4)。

【フレイル点数の推移】

フレイル 点数	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
12点	1人	0.0%	0人	0.0%	2人	0.0%
11点	2人	0.0%	4人	0.0%	2人	0.0%
10点	10人	0.1%	13人	0.1%	5人	0.0%
9点	27人	0.2%	17人	0.1%	14人	0.1%
8点	67人	0.5%	75人	0.5%	81人	0.5%
7点	185人	1.3%	201人	1.3%	191人	1.1%
6点	385人	2.7%	441人	2.9%	496人	2.9%
5点	798人	5.6%	871人	5.8%	946人	5.6%
4点	1,445人	10.2%	1,555人	10.3%	1,741人	10.3%
3点	2,358人	16.6%	2,564人	17.0%	2,806人	16.6%
2点	3,127人	22.0%	3,426人	22.7%	3,788人	22.3%
1点	3,240人	22.8%	3,426人	22.7%	3,959人	23.4%
0点	2,538人	17.9%	2,514人	16.6%	2,920人	17.2%
4点以上	2,920人	20.6%	3,177人	21.0%	3,478人	20.5%

※データ分析対象は、令和2年度から令和4年度の間診結果を使用。

※4)堀紀子,他.Criterion validity of the health assessment questionnaire for the national screening program for older adults in Japan: the SONIC study(日本における高齢者を対象とした健康診査で使用される健康評価質問票の基準妥当性: SONIC 研究).Geriatrics & Gerontology International.2023,23(6), P437~443

令和4年度のフレイル点数が4点以上において、「医療機関未受診者」および「入院がなく、外来受診した月が2ヶ月以下」の人数および割合を下表に示します。介護認定者を含む場合と含まない場合の2つの表に分けています。これらは、「フレイルのおそれがあるがその症状に対応する治療がなされていない者」と推定されます。

【フレイル点数4点以上かつ医療機関の受診がない方の人数 介護認定者を含む(令和4年度)】

フレイル点	人数 a	医療機関 未受診者数 b	割合 b/a	入院がなく、外来 受診2ヶ月以内 c	割合 c/a
12点	2人	0人	0.0%	0人	0.0%
11点	2人	0人	0.0%	0人	0.0%
10点	5人	0人	0.0%	0人	0.0%
9点	14人	0人	0.0%	1人	7.1%
8点	81人	2人	2.5%	10人	12.3%
7点	191人	9人	4.7%	17人	8.9%
6点	496人	11人	2.2%	33人	6.7%
5点	946人	33人	3.5%	59人	6.2%
4点	1,741人	57人	3.3%	93人	5.3%
合計	3,478人	112人	3.2%	213人	6.1%

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトおよび令和2年度から令和4年度の間診結果を使用。

【フレイル点数4点以上かつ医療機関の受診がない方の人数 介護認定者を含まない(令和4年度)】

フレイル点	人数(再掲) a	医療機関 未受診者数 b	割合 b/a	入院がなく、外来 受診2ヶ月以内 c	割合 c/a
12点	2人	0人	0.0%	0人	0.0%
11点	2人	0人	0.0%	0人	0.0%
10点	5人	0人	0.0%	0人	0.0%
9点	14人	0人	0.0%	1人	7.1%
8点	81人	1人	1.2%	6人	7.4%
7点	191人	7人	3.7%	9人	4.7%
6点	496人	10人	2.0%	19人	3.8%
5点	946人	29人	3.1%	43人	4.5%
4点	1,741人	51人	2.9%	73人	4.2%
合計	3,478人	98人	2.8%	151人	4.3%

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトと介護認定データおよび令和2年度から令和4年度の間診結果を使用。

次に、令和4年度の骨折部位別の患者数、医療費、一人当たり医療費を下表に示します。

【骨折の部位別の患者数、医療費、一人当たり医療費(令和4年度)】

ICD10コード3桁	骨折の部位	レセプト件数(件)	患者数(人)	患者数比率	医療費(円)	医療費比率	一人当たり医療費(円)
S02	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	674	416	1.8%	9,891,611	0.1%	23,778
S12	頸部の骨折	495	217	0.9%	36,213,581	0.5%	166,883
S22	肋骨、胸骨及び胸椎骨折	11,678	4,023	17.5%	415,152,654	6.2%	103,195
S32	腰椎及び骨盤の骨折	20,386	5,287	23.0%	1,391,074,171	20.8%	263,112
S42	肩及び上腕の骨折	4,710	1,328	5.8%	274,932,973	4.1%	207,028
S52	前腕の骨折	6,104	1,713	7.5%	265,511,321	4.0%	154,998
S62	手首及び手の骨折	1,248	499	2.2%	19,037,725	0.3%	38,152
S72	大腿骨骨折	19,024	4,749	20.7%	3,642,183,299	54.5%	766,937
S82	下腿の骨折、足首を含む	4,102	1,236	5.4%	291,429,074	4.4%	235,784
S92	足の骨折、足首を除く	1,346	497	2.2%	42,225,233	0.6%	84,960
T02	多部位の骨折	3,036	881	3.8%	94,592,227	1.4%	107,369
T08	脊椎骨折、部位不明	1,505	411	1.8%	36,912,563	0.6%	89,812
T10	上肢の骨折、部位不明	3	1	0.0%	14,050	0.0%	14,050
T14	部位不明の損傷	5,300	1,719	7.5%	160,600,075	2.4%	93,426

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

未コード化傷病名はできる限りコード化し、傷病名と診療行為・薬剤の関連付けを行い、医療費を算出。

また、同様に男女別年齢階層別の患者数を下表に示します。

【骨折の部位別の患者数(令和4年度 男性)】

ICD10コード3桁	骨折の部位	男性(人)							計
		65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～	
S02	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	0	0	56	49	45	21	6	177
S12	頸部の骨折	1	2	19	30	29	12	2	95
S22	肋骨、胸骨及び胸椎骨折	6	8	335	386	294	161	45	1,235
S32	腰椎及び骨盤の骨折	2	9	314	378	401	234	67	1,405
S42	肩及び上腕の骨折	6	6	87	101	92	47	11	350
S52	前腕の骨折	0	2	91	82	64	38	6	283
S62	手首及び手の骨折	2	2	64	57	33	19	2	179
S72	大腿骨骨折	4	11	182	229	259	202	85	972
S82	下腿の骨折、足首を含む	0	5	122	96	71	33	6	333
S92	足の骨折、足首を除く	1	3	61	70	27	9	1	172
T02	多部位の骨折	0	3	46	57	59	29	6	200
T08	脊椎骨折、部位不明	0	0	23	22	27	12	8	92
T10	上肢の骨折、部位不明	0	0	0	0	0	0	0	0
T14	部位不明の損傷	3	3	127	141	122	61	17	474
総計		25	54	1,527	1,698	1,523	878	262	5,967

【骨折の部位別の患者数(令和4年度 女性)】

ICD10コード3桁	骨折の部位	女性(人)							計
		65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～	
S02	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	0	0	63	60	69	38	9	239
S12	頸部の骨折	0	0	23	35	30	27	7	122
S22	肋骨、胸骨及び胸椎骨折	3	8	609	773	727	471	197	2,788
S32	腰椎及び骨盤の骨折	4	14	772	1,028	1,087	690	287	3,882
S42	肩及び上腕の骨折	2	4	223	224	262	172	91	978
S52	前腕の骨折	4	4	467	365	324	202	64	1,430
S62	手首及び手の骨折	0	2	89	83	84	45	17	320
S72	大腿骨骨折	3	14	416	721	1,108	992	523	3,777
S82	下腿の骨折、足首を含む	1	9	276	259	216	99	43	903
S92	足の骨折、足首を除く	1	1	127	92	60	30	14	325
T02	多部位の骨折	0	0	114	182	194	138	53	681
T08	脊椎骨折、部位不明	0	0	55	87	91	59	27	319
T10	上肢の骨折、部位不明	0	0	0	0	1	0	0	1
T14	部位不明の損傷	4	6	284	342	319	201	89	1,245
総計		22	62	3,518	4,251	4,572	3,164	1,421	17,010

※データ分析対象は、令和4年度の医科、DPC、歯科、調剤の電子レセプトを使用。

※年齢は、令和4年度3月31日時点。